

平成29年度版

研修ご担当者様

高次脳機能障害者への支援のための 出張勉強会のご提案

(※単年度事業となっておりますので、詳しくは生活リハビリテーションセンターまでお問い合わせ下さい。)

堺市立健康福祉プラザ
生活リハビリテーションセンター
(堺市高次脳機能障害支援拠点機関)

堺市立健康福祉プラザ 生活リハビリテーションセンター
Social Independence Rehabilitation Center

支援する方々の共通の疑問や課題

「高次脳機能障害ってなんだかよくわからない」

「どのようなリハビリがあるの？」

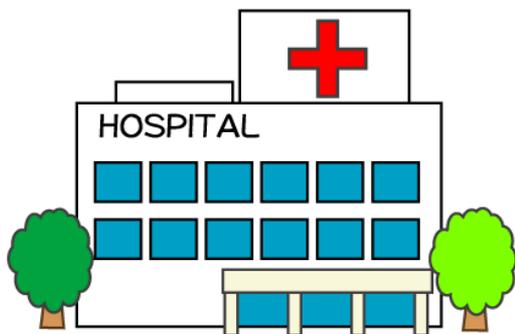
「リハビリ後の生活が知りたい」

「記憶障害のある方への対応は？」

「感情コントロールができない人の対応は？」

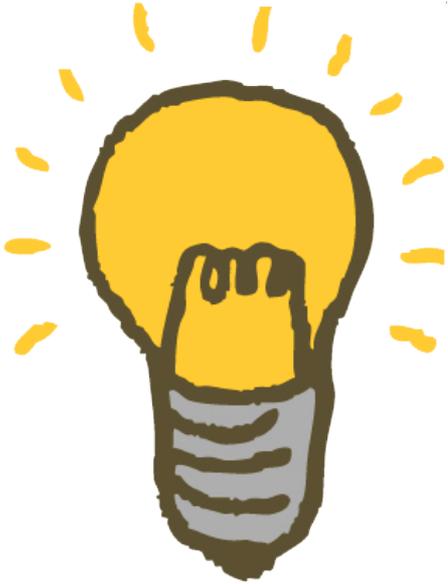
「コミュニケーションを上手くするための工夫は？」

「仕事に戻れるようにするには？」



平成29年度も引き続き、堺市高次脳機能障害支援拠点機関が、これまでの研修会参加者のアンケートなどから、テーマを選び出張勉強会を開催いたします。

医療・福祉の分野で日々高次脳機能障害者の支援に携わっている施設・事業所における人材育成のための施設内勉強会等にご活用ください。



生活リハが提供する研修会の特徴

- 支援経験に基づく実践的内容
- 一般論から各論までのバリエーションが豊富
- 堺市内の資源紹介なども可能
- 個別の支援課題に対する具体的提案も可能
- 参加者の要望に合わせてアレンジが可能
- 支援拠点との「顔の見える関係づくり」の機会
- 引き継いだケースのフォローアップに

	平成27年度実績とテーマ	参加者
A病院	高次脳機能障害の就労支援について	76
B病院	高次脳機能障害ってどんなもの	39
	生活リハビリテーションセンター（堺市高次脳機能障害支援拠点機関）の役割	30
	高次脳機能障害に対するリハビリテーションと 具体的な対応方法について	18
	高次脳機能障害者の社会参加支援について	58
	高次脳機能障害に対する医療から福祉へのきれめのない支援 ～より良い地域生活のために～	13
C病院	堺市高次脳機能障害支援拠点機関の役割・高次脳機能障害とは	64
	高次脳機能障害に対するリハビリテーションと 具体的な対応方法について	27
	高次脳機能障害における社会的行動障害とその対応について	19
	注意障害の認知リハビリテーションについて 適切な座位姿勢のための 簡易な評価方法とその対処法について	21
	高次脳機能障害のリワーク（復職）について 高次脳機能障害者の社会参加支援について	31
D病院	生活リハビリテーションセンター（堺市高次脳機能障害支援拠点機関）の役割	17
	病院と生活リハビリテーションセンターとの連携 「利用者さんは退院後に生活リハでどんなリハをして、卒業後はどんな生活を送っているのか」	13
4病院 延べ13回開催		参加者合計 426

	平成28年度実績とテーマ	参加者
A病院	「高次脳機能障害とは？」	45
	「高次脳機能障害に対するリハビリテーションと具体的な対応方法について」	35
	「高次脳機能障害における社会資源について」	27
	「入院中の高次脳機能障害者への対応について ～病棟における観察・対処のポイント～」	19
B病院	「社会的高度障害への適切な対応と 支援者が知っておきたいこと」	31
	「高次脳機能障害における 社会資源について」	22
	「高次脳機能障害とは？」	31
	「適切な座位姿勢のための簡易な評価方法とその対処法について」	16
	「高次脳機能障害者の社会復帰・社会参加 ～就労について～」	22
C病院	「生活リハ（堺市高次脳機能障害支援拠点機関）について」	15
D介護サービス	「高次脳機能障害とは」	20
EヘルパーS	「高次脳機能障害とは」	24
FヘルパーS	「高次脳機能障害とは」	28
GヘルパーS	「高次脳機能障害とは」	12
3病院 4介護保険事業所 延べ14回開催		参加者合計 347

研修会のテーマ

①社会資源編：主に相談支援者向け

1. 「堺市内高次脳機能障害支援拠点と自立訓練事業について」

生活リハビリテーションセンター（堺市高次脳機能障害支援拠点機関）における相談支援や自立訓練の内容から医療的リハビリテーション終了後の中途脳損傷者のニーズや社会参加までの流れを解説します。相談支援に関わる方には役立つ情報となると思われます。

2. 「高次脳機能障害とは ～高次脳機能障害を理解するために～」

高次脳機能障害の原因や症状などをわかりやすく説明します。特に高次脳機能障害の支援に関わった経験の少ない方々に合わせた内容で、障害理解の学習に役立つプログラムになっています。

3. 「相談支援のポイント ～実際の事例を通じての課題の整理と対応～」

生活リハビリテーションでの相談支援から見えてきた当事者・家族の困り事をタイプ別に分類し、それぞれの課題の整理について事例を通じて解説します。中途障害者の将来不安を軽減するための基本となる見通しを立て継続的支援の必要性を確認いただく内容です。

研修会のテーマ

②医療・リハビリ編：主に直接支援者向け

4. 「社会的行動障害（主に感情コントロール）への適切な対応と支援者が知っておきたいこと」

高次脳機能障害の症状の中で最も対応が困難とされる感情コントロールの障害が起きる仕組みや支援現場における適切な対処方法について解説していきます。

5. 「SSTから考える 社会的行動障害への対処法」

高次脳機能障害の症状の中で最も対応が困難とされる感情コントロールの障害を中心にSST（社会技能訓練）の実施方法やその効果について解説を行います。

6. 「記憶障害、注意障害に対する認知リハビリテーションについて」

高次脳機能障害の中で最も見られやすい記憶障害、注意障害に対する認知リハビリテーションの方法などを紹介します。また、訓練効果の上がる要素や特性などを事例を通して障害全体像と対比しながら解説していきます。

研修会のテーマ

②医療・リハビリ編：主に直接支援者向け

New!

7. 「失語症のある方への対応について」

言葉や文字による意思疎通が困難である失語症のある方との信頼関係の築き方について、症状の理解や適切な対応方法に事例を通して解説していきます。

New!

8. 「生活リハビリテーションセンター（自立訓練）利用した方の経過について ～ 実際の連携ケースから学ぶ支援のあり方の検討～」

実際に生活リハビリテーションセンターに繋いで頂いたケースの経過報告をもとに、医療・福祉連携の実際を検討していきます。注1

注1：当事者承諾のもと連携したケースに限ります。



研修会のテーマ

③社会参加編：相談・就労支援者向け

9. 「高次脳機能障害者のリワーク（復職）について」

働き盛りの世代に多い脳卒中など中途脳損傷者が、職場へ復帰するまでに必要な能力や調整事項など実際の訓練内容や安定的就労定着までに必要な方法について説明します。特に、焦る気持ちを抑えながら十分な準備を行うことの重要性についての解説となります。

10. 「高次脳機能障害者の社会参加支援」

高次脳機能障害が原因でひきこもりがちな生活となってしまう方が少なくありません。就労以外にも充実した地域生活を行うために何らかの安定的継続的な社会参加が大切です。障害受容までの過程や新たな社会参加に至った経過など事例を交えて解説します。



研修会のテーマ

④社会参加編：主に直接支援者向け

11. 「高次脳機能障害者支援における園芸活動」

植物に触れることで得られる季節の変化や達成感など、園芸活動は高次脳機能障害者の支援に有効な方法の一つです。手軽にできる園芸プログラムや各施設で導入できそうな園芸活動について紹介します。

12. 「適切な座位姿勢のための簡易な評価方法とその対処法について」

身体の麻痺や高次脳機能障害による空間認知の障害は、座位姿勢に大きな影響を与えます。車椅子座位や作業中の座位姿勢を適切に整えることができれば、身体へのストレスを軽減できるだけでなく、移動や作業能力を高めることができる場合があります。車椅子座位や作業中の座位姿勢について、支援現場でできる簡便な評価方法を解説します。



お申し込みと実施方法

- ① ご希望の日時・場所をお教えてください（土・日・祝日を除く午前10時から午後7時までの時間帯）。
- ② 主な参加対象者とおおよその参加人数をお知らせください（5名以上でお願いします）。
- ③ 開催時間は1回60分程度になります。
- ④ 費用は**無料**です。
- ⑤ 資料は10部までこちらで用意します（それ以上必要であれば、事前プリントアウトまたはデジタルデータにてお渡しします）
- ⑥ 参加者アンケート・参加者リスト（職種と人数）にご協力ください。
- ⑦ 開催にあたって事前のお打ち合わせをお願いする場合があります。
- ⑧ 健康福祉プラザにて開催することも可能です（会場費は無料ですが、障害者手帳のない場合の駐車料金が必要です）。
- ⑨ 複数の内容をシリーズで実施することも可能です（但し1施設5回）。
- ⑩ ご希望のテーマでの研修内容もお気軽にご相談ください。

お申し込み・問い合わせ先

堺市立健康福祉プラザ

生活リハビリテーションセンター

電話 072-275-5019

担当 別府・正田

メール seikatsu-reha@sakai-kfp.info

お気軽にご相談
ください。

